

第32回 広島市障害者ボウリング大会実施要項

1 目的

本大会は、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者に対する社会の理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として開催する。また、本大会は全国障害者スポーツ大会の市予選会を兼ねるものである。

2 主催

広島市

3 共催

社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会
広島市精神保健福祉家族会連合会

4 主管

広島市障害者スポーツ協会

5 協力(予定)

広電ボウル・広島県パラスポーツ指導者協議会・広島県手話通訳派遣委員会・広島市中心身障害者福祉センター

6 日時

令和7年2月9日(日)

受付 9:50~10:20

開会式 10:30~10:40

競技 10:50~13:00(予定)

※大会当日、受付時間に間に合わない場合は、棄権とさせていただきます。

〔 当日連絡先:090-4019-3106(午前9時から) 〕

7 場所

広電ボウル (広島市中区平野町10番16号)

8 参加資格 ①及び②に該当する者とする。

① 令和7年4月1日現在で13歳以上、障害区分に応じて次の要件を満たす者

【知的障害者】療育手帳所持者、あるいはその取得の対象に準ずる障害(※)の有る者

【精神障害者】精神障害者保健福祉手帳所持者、又は自立支援医療(精神通院)受給者

(※)「取得の対象に準ずる障害」とは、以下の書類のいずれかが提出できる者。ただし、本大会申込時には、提出不要です。

- ・児童相談所・知的障害者更生相談所長の判定書の写し
- ・医師の診断書
- ・在籍(在学、通所、入所)又は卒業(退所)先の所属長による証明書

② 本市に住所を有する(住民票が有る)者。ただし、市内の学校・施設に在籍している者は参加できるものとする。

9 競技方法

各障害別・年齢層別・男女別で、全てスクラッチ(ハンディなしの記録)の2ゲームマッチとする。

10 年齢区分

- (1)少年 (男・女) (年齢 13 歳～19 歳)
- (2)青年 (男・女) (年齢 20 歳～35 歳)
- (3)壮年 (男・女) (年齢 36 歳以上)

11 競技規則

令和 6 年度全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会特別ルールによる。

《本大会特別ルール》

- (1)原則として、同一レーン 4 人で競技し、1 フレーム毎に交代で投球する。
※全国障害者スポーツ大会ではデュアルレーン(アメリカン)方式で行う。
- (2)投球後、ファウルラインを越えても、意図的なものでない限りファウル扱いしないこととする。
※全国障害者スポーツ大会では自動式ファウル判定機を使用する。

12 表彰

各障害別・年齢別・男女別に 1～3 位まで表彰する。

精神障害者は、年齢区分の申込者数が 8 名以下の時は、他の年齢区分と合わせて順位を決定する。

13 申込み

令和 6 年 12 月 28 日(土)<必着>までに、所定の申込書に必要事項を記入のうえ、以下の申込先にメール・FAX・郵送・持参すること。

メール・FAXで申込みの場合には、同協会から受取り確認をメール・FAXするので、確認をすること。

団体申込方法については、下記の問い合わせ先まで連絡すること。

応募者数が 120 名になりしだい、申し込みの受付を終了する。

(申込先・問い合わせ先)

広島市障害者スポーツ協会 〒732-0052 広島市東区光町二丁目1番5号 広島市心身障害者福祉センター内 電話・FAX:082-263-3394(FAX受信は休館日でも可能) メー ル:info@hiroshima-safd.jp 休 館 日:水曜日・祝日の翌日(翌日が水曜日の場合翌々日)
--

14 その他

- (1) 精神障害者は、全国障害者スポーツ大会競技規則上、選考の対象とならない。
- (2) 貸し靴は、当日各自で申し込むこと。【1足 400円(現金のみ)】
- (3) 選手、役員以外は競技エリアに入場できない。
- (4) 競技に補助物品の使用すること、および介助支援することはできない。
- (5) 大会中のケガ等については、きり傷・すり傷等軽微な応急処置以外の対応は行えないので留意すること。
- (6) 選手の氏名・写真・映像などを広報誌・ホームページに掲載する場合があるので、了承のうえ参加すること。ただし、特段の事情がある場合は事前に相談すること。
- (7) 参加者の撮影は、観覧スペースからすること。家族、親族または関係者以外の者が参加者を撮影しないこと。